

明治安田生命が米中堅生保を買収—格付に影響なし

以下は、明治安田生命保険相互会社（証券コード：一）が Banner Life Insurance Company（バナーライフ社）関連各社の買収手続きに関係当事者間で合意したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 明治安田生命保険は、本日、米国で個人保険事業や年金リスク移転事業を中心に展開するバナーライフ社ほか関連各社の買収について、その親会社である英金融サービスグループ Legal & General Group plc (L&G) と戦略的業務提携の一環として合意に至ったと公表した。買収手続きの完了は25年度下半期（25年10月～26年3月）を予定している。買収総額は22.8億米ドル（約3,522億円）を見込んでおり、全額を手元資金で対応するとしている。
- (2) 明治安田グループは、10年計画「MY Mutual Way 2030」において海外保険事業の拡充を掲げており、本件買収はこの方針に沿った取り組みの一環である。海外保険事業等の基礎利益相当額として目指してきた1,000億円は本件により達成の確度が高まり、「めざす姿」として、30年までにグループ基礎利益の25%程度、約1,700億円を再設定している。スタンコープ社が主に手掛ける団体保険事業とは異なる個人保険事業や年金リスク移転事業を取り込むことで米国事業の強化につながるほか、事業基盤の分散による収益源の多様化などに寄与するとJCRはみている。グループはL&Gと協業を進めるとしており、JCRは海外保険事業における今後の展開に注目していく。
- (3) 明治安田グループはESRなどでみた健全性が高く、本件買収による財務基盤への影響は限定的とみている。グループが行う戦略的出資は、健全性を重視する資本政策の下で、規律をもって実施されているとJCRはみている。24年8月に公表したアメリカン・ヘリテージ社の買収に本件が加わり、米国を中心に海外保険事業の拡大が続いている。グローバルかつグループ一体的なERMの重要性が一層増しており、適切なガバナンス態勢が構築できるか見守っていく。

(担当) 宮尾 知浩・松澤 弘太

【参考】

発行体：明治安田生命保険相互会社

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル